

健康講座「味噌づくり体験」

令和3年12月2日(木)、イツカコミュニティセンター調理室において、健康講座を開催いたしました。
 今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小しての開催となりましたが9名の参加者と「味噌づくり」を行いました。
 2~3ヶ月発酵させた手造り味噌は、元気子ども料理クラブ「コスモス食堂」に来られた50世帯に「無添加の美味しい味噌を毎日の食事に取り入れ、免疫力を上げてコロナに負けない体づくりに役立ててほしい」と無料でお配りしました。
 今年度は、多くの市民の皆様と楽しく味噌づくりを行いたいと考えております。
 一日も早くコロナが収束し、安心して過ごせる日常が戻ることを願っています。



～飯塚市婦人会の活動を通して①～

私は昨年頃から飯塚市婦人会の「コスモス食堂」(子ども食堂)にスタッフとして参加しています。感染症対策を講じた中で、月に1回お米や野菜、レトルト食品、生理用品を含む日用品が配られています。

当初はボランティア活動とは、黙々と作業をするものと思っていましたが、活動の中で単に作業をするだけではあまり意味がないことに気がつきました。利用者には様々な親子がいて、見た目にはわからないそれぞれ違う悩みや事情を抱えた人がいることが分かったからです。そこで、私は利用者に勇気を振り絞って声かけをしながら対応をするようにしてみたところ、子育ての様子や今感じていることなど色々なことを話す機会が生まれました。私はこの活動を通して、誰かの役に立つことの喜びを感じています。

今後とも、多くの皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。



～飯塚市婦人会の活動を通して②～

ある日、スーパーの掲示板に貼られた「食べることは生きることを伝えたい」と書かれた飯塚市婦人会の「コスモス食堂」のチラシが目にとまり、ボランティアスタッフとして参加希望の電話をしました。あれから四年が経ち、今も「コスモス食堂」などの婦人会の活動に参加しています。

「コスモス食堂」の活動は、地域の皆様や企業の方々のご支援、ご協力で成り立っています。現在は新型コロナウイルス感染症拡大の為、「食材配布」という形で活動していますが、配布会に来られた方の中には「こんなにもいただいているんですか」と何度も何度も頭を下げる方もいて、胸に込み上げるものがあります。

この活動がもっと多くの世代に認知され、フードロスの削減や福祉の面でも地域で支え合いができるよう尽力します。



～飯塚市婦人会の活動を振り返って～

長引くコロナ禍で、飯塚市婦人会の活動も影響を受ける結果となっております。このような状況下でも、NPO法人フードバンク飯塚、企業、個人、農家、匿名の団体など沢山の皆様からお米、麺類、レトルト食品、お菓子、野菜、飲料など沢山の寄付が集まりました。会員自ら畑で野菜を収穫させていただくこともありました。『元気子ども料理クラブ』(子ども食堂)は、調理実習や居場所づくりを目的として4年前から開催しており今年で5年目に入りました。新型コロナウイルス感染症対策や「子育て世帯を応援したい」という飯塚市婦人会の強い思いもあり、2年前から従来の子ども食堂とは形式を変え、事前に電話でご予約いただいた約50~80世帯の方を対象に寄付された食材を無料でお配りする食材配布会を毎月1回行ってまいりました。

また、飯塚市婦人会の活動は子ども食堂だけでなく、環境活動にも取り組んでおります。昨年度はイオン穂波店から場所を提供いただき、食品ロス削減にもつながるフードドライブ活動に参加しました。そのほかにも家庭から出た廃油を使って石鹸づくりなども行いました。

これからも、飯塚市婦人会会員一丸となって子ども達や地域の皆様方の一助となるよう地域活動に取り組んでまいりたいと思っております。また、一緒に楽しく活動して下さる会員さんも随時募集しております。

最後に、飯塚市婦人会の活動にご理解、ご支援くださる皆様方に厚く御礼申し上げます。

俳句

愛らしき 童地蔵の 冬帽子
 尼寺へ ゆるぎ参道 つわの花
 山彦に 少年の声 春立てり
 名の山も 名の無き山も 眠りけり
 野焼きあと 一番星を 輝やかす

【セツコ】
 【スミ子】
 【チエコ】
 【ミドリ】
 【スミエ】



【紹介】NPO 法人フードバンク飯塚の活動

「特定非営利活動法人(NPO法人)フードバンク飯塚」(理事長:井上節子)を令和2年11月16日に設立しております。この法人は廃棄する食品を有効に活用するため、企業や個人から食品の提供を受け、その食品を必要としている生活困窮者や福祉施設・団体に届ける活動を行っています。現在は地域(飯塚市婦人会)と共同してコスモス食堂(子ども食堂)などの食材配布会を飯塚市内で行っており、近隣の各地域(嘉麻市・田川地区・宮若鞍手地区・直方市)においても活動の輪を広げているところです。

この法人では、「もったいない」を「ありがとう」を合言葉に、食品ロス削減に努め、支えあいと豊かな地域社会を創ることを目指しております。

企業様や団体様、農業生産者様、市民の皆様には、食材等の提供ご支援を頂き本当にありがとうございます。今後とも変わらぬご高配を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和4年度 活動計画

- 毎月1回 子ども食堂
- 【7月】複十字月間運動
- 【9月】県がん征圧のつどい
- 【10月】赤い羽根共同募金
- 【11月】日本赤十字社九州大会
- 【12月】サンクスフォーラム
- 【1月】市がん征圧研修会
- 【2月】エコフェスタ
- 【3月】県地域防災シンポジウム